



ドリンクとスマホが同時置きできる



スマホホルダー付

ドリンクホルダー

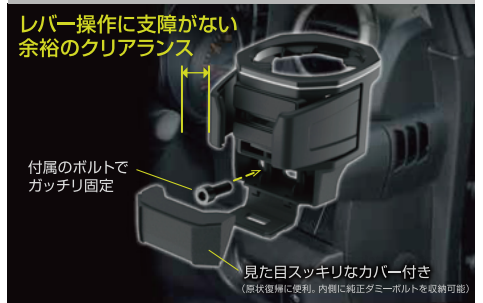


取付けイメージ (運転席側)

スマホをしっかりホールド



後付感のないガッチリ簡単固定



ドリンクの出し入れがスムーズ



ドリンクが取りやすい



運転席・助手席専用



製品特長

- ドリンクとスマホが同時に置けるジムニー・ジムニーシエラ専用のドリンクホルダーです。(1個入り)
- コンビニコーヒー、細缶・太缶、ペットボトル(500/600ml)などの様々なドリンクが収納可能です。
- ソフトシリコンフラップでドリンクの出し入れがスムーズな上、簡単に行えます。
- スマホホルダーは、ドリンクの出し入れを妨げないローポジションです。(落下防止ステーは格納可能)
- 車体純正ナットに付属ボルトでガッチリ取付け。運転席、助手席*のどちらかに取付け可能。(*ドア側のみ)

お買い求めの前に

- 本製品は、スズキ Jimny(JB64W系)・Jimny SIERRA(JB74W系)の専用品です。
- ※本製品は、調査日2020年9月現在の車種に適合します。調査日以降にマイナーチェンジした車には使用できない場合があります。
- ※本製品は車種専用ですが、製品や車種の個体差により、多少のガタツキが発生する場合があります。
- 取付け専用の六角穴付きボルトと六角レンチを付属しています。 ※取外しには別途マイナスドライバーが必要です。

製品説明



運転席側に取付ける場合には、

あらかじめ、飾りパネルを外れにくくする 作業が必要です。
※実際の取付けについて詳しくは、同梱の取扱 説明書をご覧ください。



- 飾りパネルの下面 を押しながら持ち上げる(めくり上げる)ように外します。
※飾りパネルには、固定用のツメが下2、左右、上2カ所、合計6か所あります。
- 飾りパネル に車体用クッションを貼付ける。※上側のツメ部分の隙間に貼付けて、飾りパネルを外れにくくします。
- ダミーボルトも外します。(付属の六角レンチで回して外します)
- 飾りパネルを車体の元の位置に戻します。※戻すときは、位置を合わせ水平に押し込んでほめこみます。

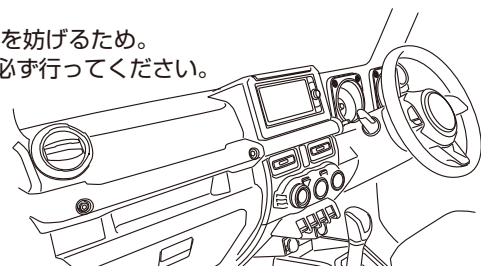
⚠️ ご注意 必ずお読みください。

- 本製品を運転席側に取付ける際は、必ず車体用クッションを取付けてください。落下し、事故につながる危険があります。
- 取付けは明るいうちに行ってください。車両のダミーボルトを取外すので、無くさないようにご注意ください。
- 車内の所定位置以外の場所に取付けしないでください。(助手席乗降クランプの車両中央側のナット穴には取付けできません)
- 本製品を取付け使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損傷(破損・キズ・変色・変形)等は当社では責任、補償を負いかねます。
- 走行中の激しい振動で、収納物等が落下する場合があります。
- 不平整や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。落下事故の危険があります。
- 使用上の落下による、ご使用の小物・荷物等の故障・破損・キズ・変色・変形等の損害につきましては、当社では責任、補償を負いかねます。
- 炎天下の車内で本製品の上にスマートフォン等を放置すると、変形・故障等の恐れがあります。
- ※車両を離れる際は、必ず本製品から収納物を取除いてください。
- 安全のため以下のような場合には、収納はおやめください。
●シリコンフラップでつぶれてしまったり、ペットボトル ※アタの無いカップやボトル ※ガラスや陶器等の割れの危険があるカップやボトル
- 耐熱・耐候性に優れた素材を使用していますが、炎天下の車内や経年劣化等で変形・変質する場合があります。
- タバコの火種、ライター等の火は絶対に近づけないでください。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用できません。※本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け、ご使用・改造をされた際の事故・故障・破損につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。
- パッケージの画像は、すべてイメージです。



取付け前に

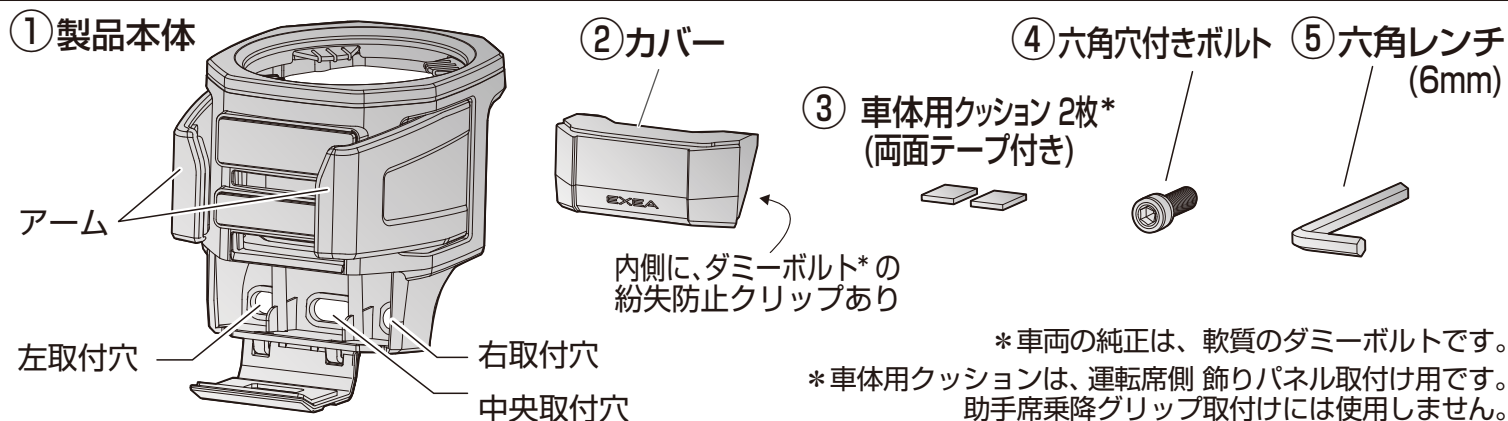
- 本製品は、スズキ Jimny(JB64W系)・Jimny SIERRA(JB74W系)の専用品です。
- ※本製品は、調査日 2020年8月現在の車種に適合します。調査日以降にマイナーチェンジした車には使用できない場合があります。
- ※本製品は車種専用ですが、製品や車両の個体差により、装着が多少きつい場合や緩い場合があります。
- 取付け専用の六角穴付きボルトと六角レンチを付属しています。※取外しには別途マイナスドライバーが必要です。
- 本製品を運転席側に取付けする際は、必ず**車体用クッション**を取付けてください。※落下して事故につながる危険があります。
- 車内の所定位置以外の場所に取付けないでください。
- ※助手席乗降グリップの車両中央側のナット穴には取付けできません。安全装置(エアバッグ)の作動を妨げるため。
- 収納する機器の大きさに合わせて位置を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ず行ってください。
- 本製品に収納できる最大重量(耐荷重量)は、ドリンク 600g/スマートフォン 250g 以下です。
- ※600ml ペットボトルを超えるものは落下・破損の恐れがあります、また、細身のピン(直径約 52 ミリ以下)等も倒れる恐れがありますので入れないでください。
- 本製品を取外した際に、飾りパネル(インパネドライバアップ)・助手席乗降グリップに跡が残る場合があります。
- 収納するドリンクや機器の形状によって、安定したホールドができない場合は使用しないでください。
- 落下防止ステーは、スマートフォン用です。荷物は吊り下げられません。



注意と警告

- 本製品は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取付けください。
- 取付けは明るい日中に行ってください。車両のダミーボルトを取外すので、無くさないようご注意ください。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害(破損・キズ・変色・痕等)は、当社では責任・補償を負いかねます。
- 走行中の激しい振動で、収納物等が落下する場合があります。
- ※不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- ※収納物は振動や出入れでキズつく恐れがあります。キズつけないものは入れないでください。
- 安全のため運転者は走行中に収納物の出し入れや機器を操作するのは大変危険です。おやめください。
- ※必ず車を安全な場所へ停車させてから出し入れや接続・操作等を行ってください。
- 耐荷重量を超えると落下、破損する恐れがありますので入れないでください。
- ※耐荷重量以下であっても、形状によっては安定しない場合がありますので、必ず確認の上ご使用ください。不安定なモノは絶対に収納しないでください。
- 安全のため以下のような場合にも収納はおやめください。
- ※シリコンフラップの反発力でつぶれてしまう軟らかいペットボトル
- ※ガラスや陶器等の割れる危険があるカップやボトル ※フタの無いカップやボトル
- ※収納物が周辺と干渉の可能性がある場合。
- ドリンク容器の形状や材質によっては出入れしにくい場合があります。
- スマートフォンに手帳型ケースなど装着している場合、機器が不安定になり落下の恐れがあります。外すなどして、ご使用になる機器が安定することを確認のうえご使用ください。
- 直射日光や高温になる場所でのご使用は、本製品及び車両側や収納物(機器)の故障、破損の原因となります。
- スマートフォンやドリンクを本製品内に放置しないでください。炎天下の車内では故障または破裂する恐れがあります。
- ※車両を離れる際は、必ず本製品から収納物を取除いてください。
- 本製品に因る収納物(機器)の破損・消失(ご使用になる機器のメモリー・データ)に関して、当社では責任を負いかねます。
- ※必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 耐熱・耐候性に優れた素材を使用していますが、炎天下の車内や経年劣化等で変形・変質する場合があります。
- タバコの火種・ライターの火は絶対に近づけないでください。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 経年車の場合は、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落の恐れがありますので取付けできません。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・ご使用・改造をされた際の事故・故障・破損につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

部品一覧



収納可能: スマホホルダー 幅67~90mm・厚み13mm・耐荷重250gまで / ドリンクホルダー 600gまで

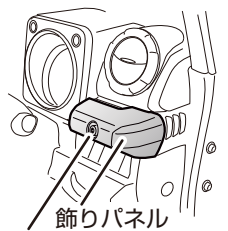
(運転席側飾りパネル・助手席乗降グリップへの各取付について、使用方法を必ずご覧ください。)

運転席側 飾りパネル * への取付けについて

* 部品名: インパネドライバアップですが、以下「飾りパネル」として説明します。

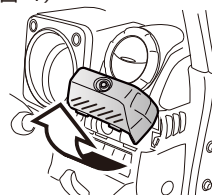
① 製品の取付前に、飾りパネルを外れにくくする作業を行います。

運転席のドア側から見た様子



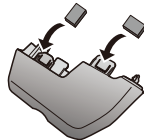
- 飾りパネルの下面を両手で押しながらか持ち上げる(めくり上げる)ように外します。(図-1)
※飾りパネルには固定用のツメが、下2、左右、上2カ所、合計6カ所あります。
- 飾りパネルの上側2カ所のツメ部分に**車体用クッション**を貼り付けます。
裏面の剥離紙をはがし、タテ/ヨコの向きに注意して貼付けてください。(図-2)
※ツメの隙間部分に貼付けることで、飾りパネルを外れにくくします。
- ダミーボルトを付属の六角レンチで回して外します。(図-3)
※ラジオペンチ等で挟んで、引く抜くこともできます。
- 飾りパネルを車体の元の位置に戻します。戻すときは、位置を合わせて水平に押し込んではおきます。(図-4)

(図-1)



(図-2)

タテ/ヨコの向きに注意してください



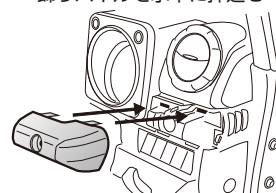
(図-3)

反時計回りに回して緩める



(図-4)

飾りパネルを水平に挿込む



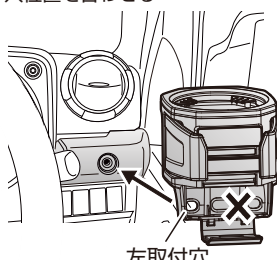
⚠️ ご注意 この作業を行っても、飾りパネルが外れなくなるわけではありません。

想定以上の荷重や圧力がかかった場合、外れて落下する可能性があることをご承知おきください。
落下による事故・損害につきましては、当社では一切その責任・補償を負いかねます。

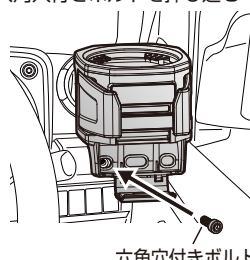
② 製品を取付ける

- 本製品の左取付穴を、飾りパネルの穴位置に合わせます。(図-5)
※中央・右取付穴は、運転席側に取付ける際は、使用しないでください。
レバーなどに干渉して運転・操作の妨げになったり、大変危険です。
絶対におやめください。
- 六角穴付きボルトを左取付穴に挿し込みます。(図-6)
※飾りパネルの奥のナットに六角穴付きボルトが垂直に入るようにしてください。
斜めになっていると締めこめないのでご注意ください。
- 六角レンチの長い方を六角穴付きボルトに挿し込み、短い方が持ち手になるようにして、時計回りに回して締めこみます。(図-7)
※長い方を持ち手にすると、容易に力をかけられるため、必要以上に締めこみすぎて飾りパネルや本製品を破損する恐れがあります。

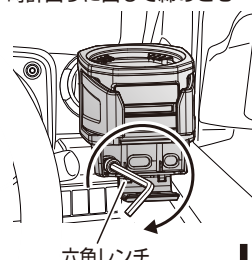
(図-5) 穴位置を合わせる



(図-6) 六角穴付きボルトを挿し込む



(図-7) 時計回りに回して締めこむ



助手席乗降グリップ * への取付けについて

⚠️ ご注意 * 助手席乗降グリップの車両中央側のナット穴には取付けできません。

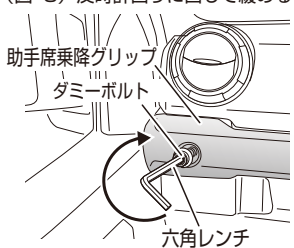
安全装置(エアバッグ)の作動を妨げるため、中央側のナット穴には取付けできません。
必ずドア側のナット穴にお取付けください。



① ダミーボルトを外す

- ダミーボルトを付属の六角レンチで回して外します。(図-8)
※車両の純正は、軟質のダミーボルトです。
本製品の取付けには、付属の六角穴付きボルトを使用します。
※ラジオペンチ等で挟んで、引く抜くこともできます。

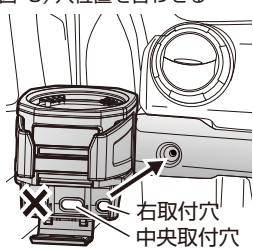
(図-8) 反時計回りに回して緩める



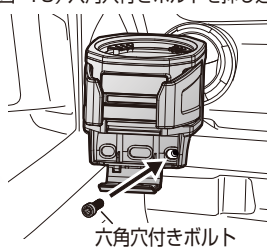
② 製品を取付ける

- 本製品の右または中央取付穴を、助手席乗降グリップの穴位置に合わせます。(図-9)
※左取付穴は、安全装置(エアバッグ)の作動を妨げる恐れがあるため、使用しないでください。
- 六角穴付きボルトを右または中央取付穴に挿し込みます。(図-10)
※助手席乗降グリップの奥のナットに六角穴付きボルトが垂直に入るようにしてください。斜めになっていると締めこめないのでご注意ください。
- 六角レンチの長い方を六角穴付きボルトに挿し込み、短い方が持ち手になるようにして、時計回りに回して締めこみます。(図-11)
※長い方を持ち手にすると、容易に力をかけられるため、必要以上に締めこみすぎて、助手席乗降グリップや本製品を破損する恐れがあります。

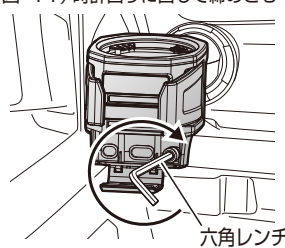
(図-9) 穴位置を合わせる



(図-10) 六角穴付きボルトを挿し込む



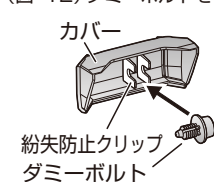
(図-11) 時計回りに回して締めこむ



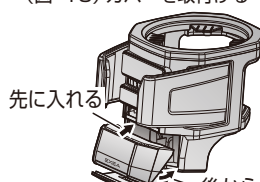
③ ダミーボルトの収納 / カバーを取付ける

- 外したダミーボルトを無くさないために、カバーの内側の紛失防止クリップに挟みます。(図-12)
※外れてこないように奥まで挿し込んでください。
- カバー上面を先に入れ、ついで下側をカチッと音がするまで押しこんで、取付けてください。(図-13)
※左右に隙間がないことをご確認ください。(図-14)

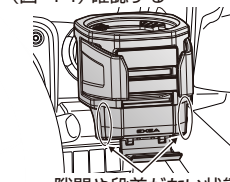
(図-12) ダミーボルトを格納する



(図-13) カバーを取付ける



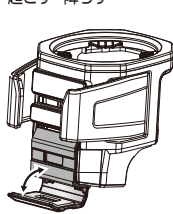
(図-14) 確認する



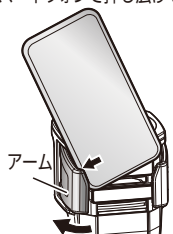
使用方法について

- ドリンクホルダーは、軟質フラップ式で、サイズ調節の必要はありません。
- スマホホルダーは、シンプルなバネ式で、左右のアームが独立して動きます。
※収納できるもの・サイズ等については、表面の「注意と警告」「取付け前」をご覧ください。
- スマホホルダーは、落下防止ステーをカチッと止まるまで降ろしてから、ご使用ください。(図-15)
- ※使用しない場合は、落下防止ステーを起こして格納することができます。
- スマートフォンを取付ける際は、スマートフォンを傾けるなどして、アームを片側ずつ押し広げながら入ると入れ易いです。(図-16)
- ※アームは、左右それぞれ約15度以上は開きません。無理に広げないでください。破損して危険です。

(図-15) 落下防止ステーを起こす・降ろす



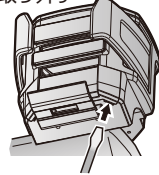
(図-16) スマートフォンを押し広げる



取外しについて

- 取外しは、取付け手順の逆の順序で行います。
- カバーを取外す際は、マイナスドライバー(先端の幅7mm以下)などを使用して、底面穴に挿しこんで、ドライバーを回すようにしてください。(図-17)
カバーの底面が前方にズレて外れます。
※万一外れない場合は、反対側の穴でお試してください。
- カバーを外した後は、取付け手順の逆(②①の順)に六角穴付きボルトを六角レンチで緩めて取り外し、製品を取外します。
カバーの内側に収納したダミーボルトを車体に取付けます。
※ダミーボルトは、軟質なのでまっすぐ押し込んで取付できます。

(図-17) ドライバーの先端で取り外す



マイナスドライバー

CA-11